

# model\_data\_coordinates

proposal\_packagesのdrawing.pyで必要なモデルデータの緯度・経度のcsvと、csvを作成するためのRubyスクリプト。

## Ruby scripts

### 必要な環境とライブラリ

---

- Ruby1.9.3以降
- geocoder

### 各スクリプト

---

- **get\_coordinates.rb**  
CSV作成スクリプト  
Geocoderで都市の緯度経度を求める
- **XXX\_coordinates.rb**  
各モデルデータの都市の緯度経度を求める

## CSV

- **cost239\_coordinates.csv**  
cost239の各ノードを表す都市の緯度・経度
- **cost239\_coordinates\_fixed.csv**  
matplotlibで描画した際の見栄えを良くするためにBelrinの経度とLuxembourgの緯度を変更
- **jpn12\_coordinates.csv**  
jpn12の各ノードを表す都市の緯度・経度
- **jpn25\_coordinates.csv**  
jpn25の各ノードを表す都市の緯度・経度
- **jpn48\_coordinates\_part1.csv**  
jpn48のノード番号1から21までの都市の緯度・軽度
- **jpn48\_coordinates\_part2.csv**  
jpn48のノード番号22から48までの都市の緯度・軽度
- **jpn48\_coordinates.csv**  
jpn48の各ノードを表す都市の緯度・経度
- **NSFNET\_coordinates.csv**  
NSFNETの各ノードを表す都市の緯度・経度
- **akitacities\_coordinates.csv**  
秋田県モデルネットワークの各ノードを表す市の緯度・経度